



防災防犯力の強化

数田 俊樹 議員

防災対策

問 平塚市避難行動要支援者支援制度の取り組みの進捗状況について伺う。

防災・危機管理監 令和2年に避難行動要支援者避難支援指針を策定し、全ての連合自治会及び地区民生委員児童委員協議会に対して地域説明会を開催した。災害発生時に適切な支援を行うための支援体制を地域で検討し、そこで得た各地域の実情や意見を関係者と共有し、地域でのきめ細やかな支援体制が構築できるよう努めてきた。より実効性のある避難支援がなされるよう自主防災組織研修会や民生委員児童委員協議会の総会や研修会などに出向き、制度を詳しく説明し、要支援者に関わりがある障がい関係者などが所属する介護事業所の研修会にも参加し、制度説明や協力依頼を行ってきた。

問 障がい者や高齢者などの要支援者を交えた防災訓練の実施状況を伺う。

防災・危機管理監 要支援者が参加した防災訓練は現在多くないため、今年度は力を入れていきたいと考えている。

問 要支援者に特化した防災訓練が行われていないと実際に災害が起きた際に無事に避難できるか心配である。自治会などからの訓練の希望を待つのではなく、行政から働きかけをしてもらいたいが見解を伺う。

防災・危機管理監 今年度は特に市民参加型の訓練を強化することになっており、働きかけを行っていきたい。

防犯対策

問 近年、刑法犯認知件数は減少傾向にあり、検挙率も向上し、安心・安全なまちに向かつて歩みを進めていると認識している。引き続き、起こりうる犯罪の事前抑止や犯罪事後の検挙率向上に向けて警察と連携し、防犯力を強化していかなければならないが、防犯カメラの有効性と設置増に

対する本市の考えを伺う。
防災・危機管理監 防犯カメラは駅周辺及び通行量の多い道路沿いに設置しており、犯罪の抑止のみならず、犯人の特定にも効果があるため、体感治安の向上や安心・安全なまちづくりに役立つと考えている。カメラの設置については、市民や自治会などのニーズに応えられるよう進めていきたい。

問 防犯カメラの設置を増やすことについて見解を伺う。

防災・危機管理監 設置に当たっては、防犯的な効果や犯罪が起きた際に犯人が捕まるなどのメリットもあるが、一方でプライバシー保護と経費の問題などがある。今後、増やせる場所については効果を確認しながら、増やしていきたい。

問 プライバシーについては以前に比べ管理が徹底されておらず、解決されていると思う。経費についての考えを伺う。

防災・危機管理監 現在10台を管理しており年間12万5千円程度の経費がかかっているため、決して安くはない金額と考える。
問 令和3年6月に、県と県警は国内の飲料メーカーと防犯協定を結んだ。内容は防犯カメラを内蔵する自動販売機で、防犯カメラのリース費用はかからず、導入すれば売り上げに応じて市の歳入確保策にもなる。セキュリティ面でもクラウド上で映像を管理し、閲覧権限を限定した契約となっている。市有地などへ設置していけば防犯力の向上と歳入確保策につながる施策と考えるが見解を伺う。

防災・危機管理監 費用やデータ管理は相手方が負担し、カメラも内蔵のため劣化を防げることからメリットは大きいと承知している。設置場所なども含め、今後検討していきたい。

このほかの質問 地域経済キャッシュレス化推進事業、姉妹都市提携、地域自治推進事業、GIGAスクール構想、教員の労働環境、いじめ、不登校対応、コミュニティ・スクール

1面掲載写真を募集しています

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、11月発行予定の議会だより1面に掲載する写真を募集しています。「秋」をテーマとした、平塚市の魅力を収めた写真をご応募ください。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。(議会局 ☎21-8791)



清風クラブ 所属議員



坂間 正昭 議長



佐藤 貴子 議員



諸伏 清児 議員



須藤 量久 議員



黒部 栄三 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案3案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

○議案第40号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 財産管理費の庁舎維持管理事業について、電話交換機の更新及びスマートフォン内線導入の概要と、どのようなメリットが図られるのか伺う。

答 電話交換機は耐用年数が一般的に10年前後とされている。市庁舎本館の電話交換機も約10年経ち、最近では電話機の老朽化や子機の音声の不具合などが度々発生しており、電話交換機を更新する際にスマートフォン内線を導入する。メリットは、故障時のリスク分散や、スマートフォン同士での内線通話が可能となり、通話料の削減になるほか、スマートフォンの庁舎外への持ち出しや現在各課が個別で契約している携帯電話を一元化することによる経費の削減が可能となる。また、スマートフォンではカメラやレコーダーなどのアプリが使えるため、今後電

子機器を購入する際の支出を削減できる。

問 観光費の七夕まつり開催事業について、会場の安全性強化の内容について伺う。

答 市民飾りの作製及び掲出にかかる委託と雑踏監視カメラの設置・撤去工事に関する費用である。これまで市民飾りを掲出していた「湘南七夕の会」より高齢化に伴い、今後飾りの掲出が継続できない旨の相談があり、これからは魅力ある市民飾りを安心・安全に掲出していく必要があるため、市内の建設業者に事業委託をすることとした。これまで「湘南七夕の会」には資材費以外はほぼボランティアとして行ってもらっていたが、建設業者に委託することになるため、予算が増額となった。また、露天商は協議の結果、路上には出店しないこととし、見附台公園に配置することが決まった。そのため見附台公園へ多くの人々が来場することが見込まれ、雑踏の警戒をする必要があり、カメラの増設工事をする費用として計上している。

都市建設

議案4案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第40号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 道路維持費の道路施設改修事業について、花水第二歩道橋撤去の完成予定はいつ頃になるのか伺う。

答 令和7年度を目標に事業を進めている。

問 公園費の高麗山公園(湘南平)魅力アップ事業について、湘南平に設置する遊具について伺う。

答 複合遊具とブランコの2種類の遊具を設置する。いずれもインクルーシブ遊具であり、複合遊具は、小さな子供でも遊べるように難易度を下げたものである。ブランコは円盤状で体を支える力がない子供でも楽しめるものや、ハーネスタイプのものを考えている。また、健常者も遊べるように通常のタイプも用意する。

問 オープンはいつになるのか。

答 令和6年3月を予定している。

教育民生

議案2案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

○議案第40号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 教育指導費のサン・サンスタッフ派遣事業について、学習支援補助員であるサン・サンスタッフの1日の勤務時間と1か月の勤務回数を伺う。

答 勤務時間は1日5時間で、月に9日間勤務している。7月や3月は長期休業のため5日間となり、8月は勤務がない。

問 学校管理費の小学校運営事業及び中学校運営事業について、今後のプールの使用や水泳授業の在り方など、本市の水泳授業を「平塚市立学校プール在り方検討会」で考えていくのか伺う。

答 昨年度開催された「平塚市立学校プール在り方検討会」で、小学校のプールについてはできる限り修繕を行い、大規模改修が必要になった場合は民間のプールを検討していく。また、中学校については民間プールを検討する。